

平成 29 年度 日本学術会議 北海道地区会議 事業実施報告

【運営協議会】

第 1 回地区会議運営協議会

- 平成 29 年 6 月 8 日(金) 北海道大学(札幌市)
- ・平成 29 年度日本学術会議北海道地区会議事業計画について
 - ・平成 28 年度日本学術会議北海道地区会議事業実施報告について

第 2 回地区会議運営協議会(持ち回り)

- 平成 29 年 7 月 27 日(木) 北海道大学(札幌市)
- ・平成 29 年 11 月 12 日(日)開催予定の日本学術会議北海道地区会議学術講演会「持続可能な世界にむけて、国連が採択した目標(SDGs)と教育」について

第 3 回地区会議運営協議会

- 平成 30 年 2 月 26 日(月) 北海道大学(札幌市)
- ・平成 30 年度日本学術会議北海道地区会議事業計画について
 - ・平成 30 年度日本学術会議北海道地区学術講演会について

【学術講演会】

北海道地区会議学術講演会「持続可能な世界にむけて、国連が採択した目標(SDGs)と教育」

平成 29 年 11 月 12 日(日)13:30~17:00 北海道教育大学旭川校(旭川市)

主催: 日本学術会議北海道地区会議

共催: 北海道教育大学

参加者: 52 名

プログラム:

司会 氷見山 幸夫(日本学術会議連携会員, 北海道教育大学名誉教授)

挨拶 三成 美保(日本学術会議副会長, 奈良女子大学副学長)

阿部 修(北海道教育大学理事・副学長)

講演「SDGs と学校教育」

氷見山 幸夫(日本学術会議連携会員, 北海道教育大学名誉教授)

講演「ジオパーク活動と地域の自然・歴史教育の重要性」

和田 恵治(北海道教育大学教育学部教授)

講演「SDGs とユネスコスクール」

小金澤 孝昭(宮城教育大学名誉教授)

講演「サブサハラ諸国における教育と子ども」

大津 和子(北海道教育大学前理事・副学長)

総合討論、質疑応答

座長 氷見山 幸夫(日本学術会議連携会員, 北海道教育大学名誉教授)

挨拶 寶金 清博(日本学術会議会員, 日本学術会議北海道地区会議代表幹事, 北海道大学副学長, 北海道大学病院長)

【サイエンスカフェ】

平成 30 年 2 月 9 日(金) 三省堂書店札幌店(札幌市)

【科学者との懇談会】

平成 29 年 11 月 12 日(日) 北海道教育大学(旭川市) 三成副会長を囲んで

平成 29 年度第 3 回日本学術会議北海道地区会議運営協議会

日 時：平成 30 年 2 月 26 日(月)17 時 00 分～18 時 00 分

場 所：北海道大学事務局会議室B（1 号館 2F）

【議案】

1. 平成 30 年度日本学術会議北海道地区会議事業計画について
2. 平成 30 年度日本学術会議北海道地区会議学術講演会について
3. その他

【報告事項等】

1. 平成 29 年度日本学術会議北海道地区会議事業実施報告について
2. その他

平成29年度 東北地区会議事業報告

事業名	時期	場所	事業内容
・東北地区会議 運営協議会 (第1回)	平成29年 11月16日(木)	東北大学 片平北門会 館セリシール	委員改選に伴う開催 運営協議会委員の紹介及び平成29年度事業 計画の確認
・科学者との懇談会 及び公開学術講演会	平成29年 11月25日(土)	東北大学 青葉山東キャンパス	①科学者との懇談会 東北大学若手研究者との懇談 ②公開学術講演会 【テーマ】 超高齢社会—元気に、楽しく生きる知恵— —医歯学と工学の融合技術の挑戦— 【講演者】 1.川島 隆太 (東北大学加齢医学研究所長) 2.永富 良一 (日本学術会議第 23-24 期連携会員、 東北大学大学院医工学研究科教授) 3.出江 紳一 (日本学術会議第 22-23 期連携会員、 東北大学大学院医工学研究科教授) 4.佐々木 啓一 (日本学術会議第 24-25 期連携会員、 東北大学大学院歯学研究科長) ◇参加者 約80名
・東北地区会議 運営協議会 (第2回)	平成30年 2月20日(火)	東北大学 片平キャンパス AIMR 本館 3F 打合せ室	平成29年度事業報告及び 平成30年度事業計画の審議
・地区会議ニュース の発行 (No. 32)	平成30年3月 (予定)		掲載内容(予定) ① 代表幹事挨拶 ② 24期運営協議会新任委員挨拶 ③ 科学者との懇談会・公開学術講演会報告、感想 ④ 地区会議構成員(会員・連携会員)名簿

平成29年度 事業実施報告書

(中部地区会議)

事業名	期日・場所	内容	出席者数
中部地区会議	平成29年 7月7日(金) 松本市 (信州大学 本部管理棟5階 第二会議室)	1 中部地区会議運営協議会について 2 地区会議代表幹事の報告 3 学術講演会について 4 地区会議ニュースについて 5 平成28年度中部地区会議事業実施報告について 6 次回地区会議の開催について	20名
(科学者懇談会 各県幹事との 打合せ会)		1 幹事長の選出について 1 科学者懇談会について 2 科学者懇談会新会員の加入及び幹事の交替について 3 平成28年度科学者懇談会収支について 4 日本学術会議第173回総会の傍聴について 5 学術講演会の進め方について	20名
学術講演会	(信州大学 理学部C棟2階 大会議室)	1 開会挨拶 2 科学者との懇談会活動報告 3 講演 (1)「学術は社会の期待にどう応えるのか」 日本学術会議会長 大西 隆 (2)「だまされる心の心理学：思い込みや迷信を生む心のシステム」 信州大学人文学部人文学科教授 菊池 聡 (3)「幹細胞の解析と畜産，自然保護：生命工学的な解析が持つ意義」 信州大学農学部農学生命科学科 教授 鏡味 裕	約60名
中部地区会議	平成29年 11月30日(木) 名古屋市 (名古屋大学 ジェンダー・リ サーチ・ライブ ラリー2階レク チャールーム)	1 中部地区会議運営協議会について 2 地区会議代表幹事の報告 3 学術講演会について 4 地区会議ニュースについて 5 平成30年度中部地区会議事業実施計画について 6 次回地区会議の開催について	15名
(科学者懇談会 各県幹事との 打合せ会)		1 科学者懇談会について 2 科学者懇談会新会員の加入及び幹事の交替について 3 日本学術会議第175回総会の傍聴について 4 学術講演会の進め方について	15名
学術講演会	(名古屋大学 アジア法交流館 2階アジアコミ ュニティフォー ラム)	1 開会挨拶 2 科学者との懇談会活動報告 3 講演 (1)「ジェンダー問題に関する日本学術会議の取り組み」 日本学術会議副会長 三成 美保 (2)「フィールド研究におけるジェンダー」 日本学術会議連携会員，名古屋大学大学院生命農学研究科教授 竹中 千里 (3)「ジェンダーと政治、家族を考える」 名古屋大学法政国際教育協力研究センター 教授 武田 宏子	約90名
地区会議ニュースの発行 (No.143) (No.144)	平成29年10月 平成30年3月	発行部数530部 発行部数525部	

平成29年度 近畿地区会議事業実施報告書

日時	場所	実施事業	講演者	備考
平成29年 9月30日(土) 13:00~17:00	京都大学 国際科学イノベーション棟 シンポジウム ホール	日本学術会議近畿地区会議学術講演会 「超スマート社会に向けて -AI (人工知能) やIoT (モノのインターネット) により私たちの生活はどう変わるか-」 開会の挨拶 趣旨説明 講演1 「超スマート社会を実現するビッグデータ創出技術」 講演2 「人工知能のもたらしつつあるもの」 講演3 「自動運転の技術開発とその課題」 講演4 「AIは雇用を奪うか」 全体討論 閉会の挨拶・総合司会	梶 茂樹 日本学術会議近畿地区会議代表幹事 京都産業大学現代社会学部教授 大西 隆 日本学術会議会長・豊橋技術科学大学学長・東京大学 名誉教授 吉田 進 日本学術会議第三部会員・京都大学特任教授 原田 博司 京都大学大学院情報学研究科教授 西田 豊明 日本学術会議連携会員・京都大学大学院情報学研究科 教授 木津 雅文 トヨタ自動車株式会社 コネクティッドカンパニー ITS 企画部部長 井上 智洋 駒澤大学経済学部准教授 コーディネータ：兵藤 友博 日本学術会議第一部会員・立命館大学経営学部教授 東野 輝夫 日本学術会議第三部会員・大阪大学大学院情報科学研究科教授	主催： 日本学術会議近畿地区会議 京都大学 後援： 公益財団法人日本学術協力財団

<p>平成 30 年 2 月 28 日(水) 15:00～17:00</p>	<p>京都大学 本部棟 1 階 ミーティング ルーム (京都市)</p>	<p>日本学術会議近畿地区会議運営協議会・学術文化懇談会 (同時開催)</p>	<p>議題 1. 平成 29 年度事業報告について 2. 平成 30 年度事業計画について 3. 平成 30 年度近畿地区会議学術講演会について 4. 近畿地区会議の関係大学事務局の変更について 5. 「地方学術会議」企画案の募集について 6. その他</p>	
<p>平成 30 年 3 月</p>		<p>日本学術会議近畿地区会議ニュースの発行 －掲載概要－ (平成 29 年度日本学術会議近畿地区会議の活動報告)</p>		<p>発行部数は 1,000 部</p>

超スマート社会に向けて

— AI（人工知能）やIoT（モノのインターネット）により私たちの生活はどう変わるか—

スマホ（スマートホン）が身近な存在となり、いまや身の回りの多くの“モノ”がインターネットにつながる時代が目の前に迫ってきました。そこに人工知能（AI）が登場し、その高度な判断能力は私たちの社会に計り知れない影響を与え始めています。

本講演会では“超スマート社会”と呼ばれるこれからのネットワーク社会を俯瞰するとともに、近い将来これらの技術が社会にどのような影響を及ぼし、私たちの生活はどのように変わっていくのか、専門家とともに一緒に考えていきます。

開催日時

平成 29 年 9 月 30 日(土) 13:00 - 17:00

会場

京都大学 吉田キャンパス（本部構内）
国際科学イノベーション棟 5 階シンポジウムホール

どなたでも
参加いただけます。

**参加費
無料**

**参加申込
不要**

〈総合司会〉

日本学術会議第三部会員・大阪大学大学院情報科学研究科教授

開会の挨拶

日本学術会議近畿地区会議代表幹事・京都産業大学現代社会学部教授

日本学術会議会長・豊橋技術科学大学学長・東京大学名誉教授

趣旨説明

日本学術会議第三部会員・京都大学特任教授

講演1 「超スマート社会を実現するビッグデータ創出技術」

京都大学大学院情報学研究科教授

講演2 「人工知能のもたらしつつあるもの」

日本学術会議連携会員・京都大学大学院情報学研究科教授

講演3 「自動運転の技術開発とその課題」

トヨタ自動車株式会社 コネクティッドカンパニー ITS企画部部长

講演4 「AIは雇用を奪うか」

駒澤大学経済学部准教授

全体討論

「AIやIoTが進展していく生活世界を私たちはどう受けとめたらよいか」

コーディネータ: 日本学術会議第一部会員・立命館大学経営学部教授

閉会の挨拶

東野輝夫

梶茂樹

大西隆

吉田進

原田博司

西田豊明

木津雅文

井上智洋

兵藤友博

東野輝夫

プログラム

- 定員 260名（当日先着順）
- 主催 日本学術会議近畿地区会議、京都大学
- 後援 公益財団法人 日本学術協力財団
- お問い合わせ先
日本学術会議近畿地区会議事務局（京都大学内）
TEL 075-753-2041 FAX 075-753-2042
Email kensui.soumu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

<アクセス>

- 京阪電鉄 出町柳駅2・4番出口から徒歩20分
- 京都市バス 「京大正門前」下車、徒歩3分
- JR 京都駅から「206系統」祇園・北大路バスターミナル行き
- 阪急河原町駅から「201系統」祇園・百万遍行き 「31系統」高野・国際会館駅・岩倉行き



平成29年度 中国・四国地区会議事業報告

事業名	実施日時	場所	事業内容
<p>・第1回地区会議 運営協議会及び 学術講演会</p>	<p>平成29年 11月</p>	<p>徳島大学</p>	<p><u>運営協議会：</u> 1) 平成29年度公開学術講演会 について 2) 平成30年度公開学術講演会 について 3) 平成29年度地区ニュース (No. 49) について</p> <p><u>学術講演会：</u> テーマ「地域共生社会に向けて の大学と地域の取り組み」</p> <p>開会挨拶 磯部雅彦（日本学術会議中国・ 四国地区会議代表幹事代理）</p> <p>基調講演 「産学官民による人生100年時 代のまちづくり」 秋山弘子氏 （東京大学高齢社会総合研究機 構特任教授）</p> <p>シンポジウム「高齢社会におけ る地方大学の役割と学術形成」 （司会：市川哲雄（日本学術会 議連携会員／徳島大学医歯薬学 研究部教授）</p> <p>1) 「高齢社会の課題解決に向け て大学ができること」 佐々木卓也氏（徳島大学理事（研 究担当）） 2) 「新しい大学のかたち 徳島</p>

<p>・ 地区会議ニュースの発行 (No. 49)</p> <p>・ 第 2 回地区会議運営協議会</p>	<p>平成 30 年 2 月</p> <p>平成 30 年 3 月</p>	<p>広島大学</p>	<p>大学フューチャーセンター A. BA」 吉田敦也氏（徳島大学地域創生センター長） 3) 徳島県地域包括ケアシステム学会の深化・発展 白山靖彦（徳島大学大学院医歯薬学研究部教授）</p> <p>中国・四国地区の日本学術会議会員・連携会員及び教育研究機関等へ配布</p> <p><u>運営協議会：</u> 1) 平成 30 年度事業計画について 2) 平成 30 年度公開学術講演会について</p>
---	---	-------------	--

平成29年度 九州・沖縄地区会議事業報告

事業名	実施日時	場所	事業内容
運営協議会の開催	平成29年10月	書面回議	議題 (1) 平成29年度下半期の科学者懇談会及び学術講演会実施概要(案)について
	平成30年2月	書面回議	議題 (1) 平成29年度日本学術会議九州・沖縄地区会議事業報告(案)について (2) 平成30年度日本学術会議九州・沖縄地区会議事業計画(案)について (3) 平成30年度上半期の科学者懇談会及び学術講演会実施概要(案)について
科学者懇談会の開催	平成29年8月24日(木)	佐賀市	大西会長、宮崎 佐賀大学長ほか16名が出席し、意見交換及び懇談等を行った。
	平成30年3月1日(木)	長崎市	武内副会長、河野 長崎大学長ほか13名が出席し、意見交換及び懇談等を行った。
学術講演会等の開催	平成29年8月24日(木)	佐賀市	佐賀大学との共催にて学術講演会を開催した。 ◇テーマ 「明治維新150年～幕末・維新时期における佐賀藩の「ひとづくり」「ものづくり」」 ◇演題・講演者 ・『佐賀藩の教育と明治維新』 三ツ松 誠(佐賀大学地域学歴史文化研究センター・講師) ・『佐賀藩のモノづくりー科学技術とその思想-』 青木 歳幸(佐賀大学地域学歴史文化研究センター・特命教授)

			◇参加者 100名以上
	平成30年3月 1日(木)(予定)	長崎市	長崎大学との共催にて学術講演会を開催した。 ◇テーマ 「海の利用と保全への新たな挑戦」 ◇演題・講演者 ・『潮流発電の現状と今後の課題』 経塚 雄策(長崎大学海洋未来イノベーション機構・教授) ・『多次元バイオリギングによる魚類の回遊行動研究と海域利用への展開』 河邊 玲(長崎大学海洋未来イノベーション機構・教授) ・『ブルーカーボンに関する藻場生態系の基礎研究』 NISHIHARA Gregory Naoki(長崎大学海洋未来イノベーション機構・准教授) ◇参加者 約80名
日本学術会議九州・沖縄地区ニュースの発行	平成30年3月		No.116号を発行